

II-2. 研究者のための専門的能力開発セミナー

概要

「研究者のための専門的能力開発セミナー」は博士課程学生及び若手研究者を対象とした1日研修です。このセミナーに参加する研究者は、トレーニングのニーズ分析に取り組み、目標設定の方法を実践することで、自分の専門的能力の開発を管理でき、進捗状況を検討でき、さまざまな相手に専門的能力の証拠を示し、またその能力を効果的に伝えることができるようになります。Vitaeの研究者開発フレームワーク（RDF）とRDF開発カードを用いて、参加者が重要な能力を特定し、優先順位を付け、評価するお手伝いをします。また参加者は個人のアクションプランを作成します。

参加者がセミナーの中でわかること

- キャリアの成功の鍵となる多くのスキル、知識、そして行動があること、そして成功とは人によって定義がさまざまということ。
- 一度にすべてのことに取り組む必要はなく、優先事項を選んで、時間をかけて築き上げていけばよいということ。
- 能力は公式、非公式の学習機会を通じて身に付けられること。
- 複数の優先事項がある中で、自己能力開発計画（PDP）を管理し、仕事と生活の間の適切なバランスを取る方法がいくつかあるということ。
- 一人一人が違う人間であり、同じRDFのプロフィールやキャリア開発プランをもつ人間はいないということ。

学習成果

セミナー終了までに参加者ができるようになること

- ベンチマーキング、優先順位付け、目標設定によって自分の専門的能力開発を管理する
- Vitaeの研究者開発フレームワーク（RDF）を用いて自分のアクションプランを作成する
- SMART目標を設定する
- 自分の能力の証拠を示す
- さらに効果的に自分の能力を伝える

セミナーの概略

時刻	セッション	詳細
09:30 – 10:00	歓迎のあいさつと紹介、セッションのねらい	ファシリテーターの紹介と経験的学習プロセスの説明。
10:00 – 10:45	専門的能力開発計画（PDP）の要点のまとめ	PDPという考え方の紹介とPDPの価値についてのグループ・ディスカッション。
	交流のための休憩時間	
11:15 – 12:00	フレームワークの提供	Vitaeの研究者開発フレームワークの概略紹介。RDFカードを用いて各段階について学ぶ。カードソートを活用したグループ活動。
12:00 – 12:30	優先順位付け：各種レンズ	優先順位付けの方法としてRDFの各種レンズを紹介。「スタートレンズ」を用いたカードソート。
	昼食	

13:30 – 14:30	優先順位付け：ベンチマーキング	現在の能力と優先事項やキャリアプランを考慮したトレーニングのニーズを理解するため、（全てのレンズあるいは1つのレンズを用いて）RDFのベンチマーキングシートを完成させる。 ベンチマーキングを使用する可能性についてグループ・ディスカッション。（例：スーパーバイザーが同席してキャリアプラン作り）
14:30 – 15:30	証拠の組み立て	STAR 手法の紹介。 参加者は三人一組になって、それぞれが異なる役割を演じ、順番に RDF の優先キーワードと段階を選び、証拠を提示し、建設的なフィードバックを受ける。
	休憩時間	
16:00 – 16:30	目標設定	SMART 目標の紹介と二人一組での目標設定。
16:30 – 17:00	次にすべきこと	その日に学んだことを基に各参加者がじっくり考え、アクションプランを作成する。